

広報てんのう

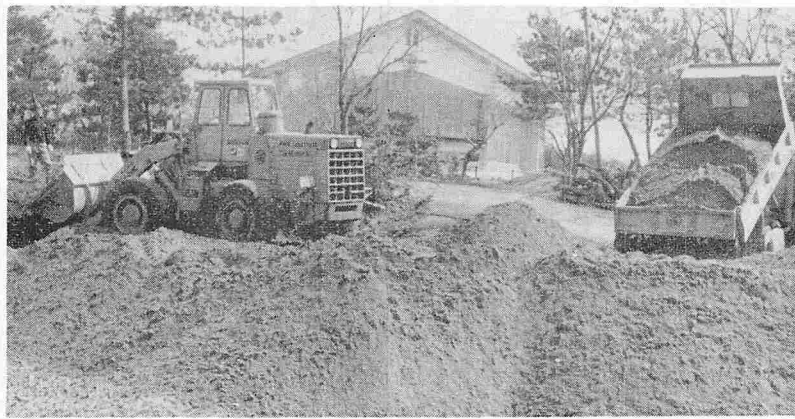
発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

町のうごき

本籍数	4,576
本籍人口	14,848
世帯数	3,382 (3,437)
住民登録人口	13,520 (13,619)
内 男女	6,578 6,942

4月1日現在
()内は3月1日現在

出戸小に学校プール



▲造成工事中の現場(3月撮影)

校舎の西側には完成 夏休み前には完成

本町では、ことになり、造成工事を終え、三つ目の学校プールが、出戸小学校舎の西側に建設する。完工予定は、七月十日なの

で夏休み前にはプール開きができる見通しである。プールは、長辺が二十五m、短辺が十一・八mで、水深は一番深いところで一mとなる。この他に泳げない子どもや幼児のために長辺十九m、短辺六m、水深三十cmの幼児プールが、半円の形でつくられ、このプールの水面積は合わせて四百㎡。プールは白セメント、コースはタイルで化粧される。

この工事にかかる費用は、二つのプール、機械設備、更衣室シャワーなどを含めて一千三十万円、国からの補助を百二十万円見込んでいます。

14日と25日に臨時議会

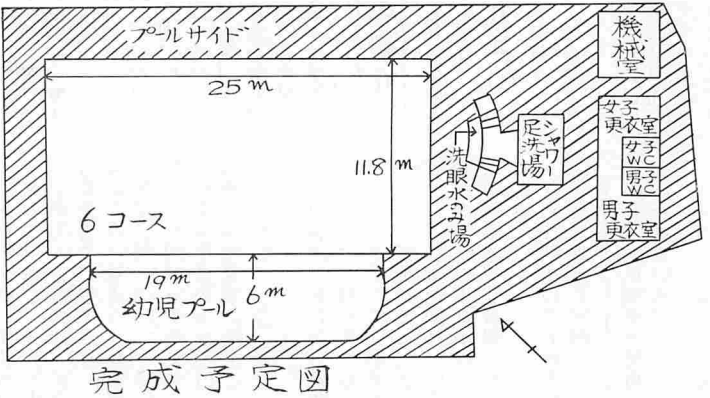
新副議長に渡部(新)氏

臨時町議会が四月十四日と二十五日の二回開かれた。十四日の町議会は、前副議長の伊藤氏が一身上のつごうにより辞職したため、空席になっていた副議長長の選任が行なわれ、

渡部新一氏が選任された。この日、上程された案件は、天王小三期工事(屋内運動場)に伴う改築工事の請け負い契約の一案で、これが可決され、四千三百九十万円で大木建設(株)が請け負うことになった。工期は、五月一日から九月三十日までとなっている。

出戸小プールは一千三十万円の建設に伴う工事の請け負い契約の一案を上程、これが可決され、(株)村山組が一千三十万円を請け負うことになった。工期は、四月二十六日から七月十日までとなっている。

水死事故の防止はもちろん、体力向上にもつながり、七月のプールの開放が待ち望まれる。完成は、二カ月後に、子どもたちは建設中のプールを見て「早く夏が来ないかなあ」と、完成をいまやおそしと待ち望んでいる。国々になるシーズンももう間近。



役場異動

四月一日付

- ()内は前職名
- 【昇格】▼企画室調査係長(経済課農政係)菅生市蔵 ▼経済課農政係長(農政係)山初善男 ▼教育委員会総務係長(同総務係)石川光男
- 【配置転換】▼町民課民生係(同国保係)鈴木清 ▼同国保係(企画室調査係)成田忠
- ▼経済課農政係(町民課民生係)佐々木周悦 ▼総務課勤務(兼町民課)桜庭久俊 ▼総務課兼務(選挙管理委員会)肥田野耕二 ▼総務課(公民館)菊地成子 ▼町民課町民係(総務課)佐藤光江子 ▼公民館(町民課町民係)安田美子 ▼天王町保育所(穂大谷地同)戸田律 ▼穂

- 大谷地保育所(大崎同)山寺ウタ子
- 【任用】▼総務課勤務(金子)八重 ▼大崎保育所(中川)順子 ▼天王小看護婦(桜庭)ティ子 ▼天王中(三浦)秋子 ▼出戸幼稚園(佐々木)紀

審議になってきた実費弁償の条例が制定された。これによって町議会が行なう調査、選挙管理委員会、監査委員会、農業委員会などの要求に応じて出頭した場合は、実費弁償されることになった。

文教社会副委員長、追分小PTA副会長、天王中PTA副会長、現在、新都市計画特別委員会の副委員長。国鉄職員、五十四歳、追分四十二。



新副議長 渡部新一氏

農業労賃昨年と変わらず

47年度の農業労賃決まる

農業委員会

四十七年度の農業労賃が決まった。これは農繁期労働力を確保するため前年度の農業労賃支払額、農外諸賃金などを考慮し毎年定めているもので、今年度は一年据え置かれ、昨年度と同額である。

他町村からの雇用、町内、部落内からの雇用の場合でも、この協定賃金を固く守ってくださるようお願いする。

農業労賃は次のとおり

- ▼除草▼手取り男女共千円 除草機男女共千二百円 ▼代かき
- ▼稲刈り▼手刈り男女共千二百円 バインダー千三百円 コンバイン九千円 ハーベスター三千円 ▼田作業▼男千五百円(くろざり、稲かき、稲あげ等)
- ▼雑作業▼男千二百円 女千円 ▼耕うん機(耕起)▼整理田二千円 未整理田二千円 干拓田二千円(いずれも十アール当り)
- ▼耕うん機(代かき)▼整理田千四百円 未整理田千五百円 干拓田千六百円(いずれも十アール当り、ただし、構造改善事業は場の整地作業を含む場合は、整理田の労賃に三百円加算)
- ▼運搬▼トラクター一日五千円

※他町村並びに他部落からの雇用の場合は、交通費を実費加算。また、いっさいの作業にまかさないのはつけない。

おもしろいものを選び出して読みます。

また、一人一人家庭の日の次の日からは、どんなことをするか自分で決めたことを、家族みんなの前で発表します。それはどんなことかといふと、わたしは妹は、今度からあまり悪いことをしないと、父や母にわたしは、今度からは、家庭の日に妹と二人で心をこめて、かみしばいを作り、父や母に見せてあげたいと思っています。

海外研修団員を募集

シベリアコースとモスクワコース

県では、青少年を規律ある行動のもとにソ連に派遣し、同国青年と親善交歓、県文化の紹介、各地の視察、見学などを行ない、視野を広め、国際協力の精神を養い、青年に日本の姿を正しく理解させるとともに、日本海沿岸経済圏時代の認識を深めさせて、次代をなす中堅青年の育成を図ろうと「海外研修団員」を募集している。

- 【訪問国、募集人員】
- ▼シベリアコース▼五十人
- ▼モスクワコース▼百人
- 【期間】
- 四十七年八月十四日～八月二十七日までの十四日間。
- 【応募資格】
- ▼秋田県に在住する者で、日本国籍を有する二十歳以上三十歳以下となる者
- ▼以下にソ連に派遣される者(年齢は昭和四十七年四月一日現在)
- ▼団体生活に適応できる健康な者で、特に伝染性の疾患のない者。
- ▼主催者の計画に従って規律ある行動のできる者で、協調性に富んでいること。
- ▼将来、地域社会または職場のなかにあって、リーダーとして活動が期待できる者。
- ▼大学(短大も含む)高等専門学校に在学中の者、過去に海外渡航したことのある者、県会議員、町会議員の職にある者は応募できないことになっている。
- ただし、夜間、通信大学等に在学中の者は応募できます。
- 【提出書類】
- ①申し込み者氏名 ②推せん者(役場で作成) ③勤務先所属長の応募承諾書(自営の場合は不要) ④戸籍抄本 ⑤履歴書 ⑥健康診断書(保健所または公的病院のもの) ⑦写真(昭和四十七年四月一日以降撮影の上半身、正面脱帽、タテ5cm、ヨコ5cm)は申し込み書に添付する。
- 【応募しめ切り、提出先】
- 希望者は、申し込み書に關係

新役員

- ▼婦人会
- ▼会長▼眞壁キサ ▼副会長▼菊地トメ、桜庭ミヨ、児玉チヤ、安田咲子 ▼会計監査▼石川スギノ、菅生正子 ▼事務局長▼三浦綱子
- ▼青年会
- ▼会長▼堀井克見 ▼副会長▼鈴木菊男、桜庭敏身、鈴木君子 ▼事務局長▼佐々木敏昭 ▼幹事▼松井涉司、薄田芳則 ▼会計▼佐藤久子
- ▼農業近代化ゼミナール
- ▼会長▼石川善太郎 ▼副会長▼安田忠一、桜庭滝子 ▼事務局長▼畠山源一
- ▼社会教育委員
- 井川久一、児玉ハチ、石川次男、児玉武、鎌田良樹、佐々木吉太郎、菊地東太郎、菅原与一郎、高橋利雄、安田末藏、佐藤キヤ、伊藤秀雄、鈴木金之助、三浦兼、鈴木為太郎、菅生民雄、桜庭敏郎、桜庭堅蔵、加賀谷正

家内労働の委託者の皆さんへ

委託状況届けを出しましたか

【秋田労働基準監督署】

家内労働法が、一昨年十月から全面的に施行され、家内労働の委託者は、毎年四月一日現在(あるいは見込み)の家内労働の委託状況について「委託状況届け」を四月三十日までに、秋田労働基準監督署に提出しなければならぬことになっています。

この届け出をしない場合は、法律によって罰せられることになっておりますので、期限まで忘れないで提出してください。

なお、詳細を知りたい方や委託状況届けの用紙がほしい方は秋田労働基準監督署におたづねください。

住所▼秋田市手形休下町一の一〇二七。電話▼三四一〇三三

わたしの家では、家庭の日になると、一カ月間の反省やこれからの家庭の日には、もっといろいろなることをしようと話し合います。

旗を立てる時は、家族みんなの外に出て、心からお祝いしながら立て、夜には家族全員で家庭の日の歌を歌います。一人一人家庭の日に合った歌を歌いあとは、おどりをとおどったり、自分の得意なものを見せます。

それから、おかあさんに手製のおいしいお料理を作ってもらいみんなで楽しく食べます。

わたしの家では、家庭の日に楽しみ会がはじまります。わたしの妹は、きくの花の歌などを歌い、おとうさんやおかあさんもそれぞれ歌います。わたしは歌ったり、短い童話の本の中で

「家庭の日」作文コンクール 入選作品 ③

追分小五年 岡

は口をきかないで、たのまれたら何でもいうことを聞いて、仕事をさちんとするなどということです。

時には、母がガムやチョコレートをくれて、わたしをびっくりさせたりします。そうして「ガムやチョコレートをあした食べなさい。今食べると歯が

香月子

さらに、家庭でなかよしポストを作り、家庭の日にあけて見たらいいのではないかと思っています。

こうして楽しく一日をすごすためにも、わたしは、ほんとうに家庭の日があつてよかつたなあ、心からそう思っています。

以下にソ連に派遣される者(年齢は昭和四十七年四月一日現在)

▼団体生活に適応できる健康な者で、特に伝染性の疾患のない者。

▼主催者の計画に従って規律ある行動のできる者で、協調性に富んでいること。

▼将来、地域社会または職場のなかにあって、リーダーとして活動が期待できる者。

▼大学(短大も含む)高等専門学校に在学中の者、過去に海外渡航したことのある者、県会議員、町会議員の職にある者は応募できないことになっている。

ただし、夜間、通信大学等に在学中の者は応募できます。

【提出書類】

①申し込み者氏名 ②推せん者(役場で作成) ③勤務先所属長の応募承諾書(自営の場合は不要) ④戸籍抄本 ⑤履歴書 ⑥健康診断書(保健所または公的病院のもの) ⑦写真(昭和四十七年四月一日以降撮影の上半身、正面脱帽、タテ5cm、ヨコ5cm)は申し込み書に添付する。

【応募しめ切り、提出先】

希望者は、申し込み書に關係

書類を添えて、役場を通じて五月三十日までに、秋田市山王四丁目の一、秋田県青少年交通対策室あてに提出してください。

※その他、経費、団員の研修内容などについては、役場青少年協係へおたづねください。

史、丸谷昇

◆体育指導委員

児玉長栄、保坂広治郎、加賀谷時雄、安田仁、鈴木久米雄、渋谷操、渋谷房子

◆図書室運営委員

中村正樹、児玉孝雄、保坂広治郎、浜田銀蔵、浅田寿美子、三浦綱子、安田幽子、石川次男、吉田八重子

◆民俗資料収集専門委員

京谷仁太郎、上法香苗、安田慶太郎、安田鉄雄、三浦兼、石川喜代志、宇根守、小野金治、石川久悦、伊藤倉之助、佐々木吉太郎、伊藤馨、吉田三郎、木島恭一



民具の紹介

今月号から民俗資料を写真で紹介いたします。

ワシカゴ(1)

洗ったサラヤ茶碗などをに入れて、水を切る入れもの。

ソコ板の中央部には穴がありヨコ板には風通しのようにできています。

用器具、大正頃まで使用されたといわれています。

交通指導車

感謝の贈りもの

下戸の佐々木さんが交通安全協会に

本町下戸の佐々木孝市さん（四十六歳）が、このほど天王町交通安全協会連合会（田仲誠会長）に交通事故防止に役立ててください」と乗用車一台を寄

贈した。

この車は、交通指導車として上下が白と黒とに塗りわけられ、外観はパトカーそのもの。同連合会では、この指導車の



▲寄贈された交通指導車、さつそく交通事故防止に活躍

盗犯、少年非行を防止しよう

十日まで春の総合防犯運動

- ◎盗犯の防止
- ◎戸締まりは確実に、お隣りにもよく頼みましょう。
- ◎夜の路上駐車は狙われる。施錠は確実に、品物は車内におかないように。
- ◎少年非行の防止

○シンナー遊びはキケン。昨年は全国で百二十四人が死亡しています。

○次のようなときはキケン信号、すぐ注意しよう。

- ①衣服、口臭にシンナーのおいがする
 - ②顔色が蒼白となる
 - ③目がドロンとしている
 - ④ことばづかいが、酔っぱらいに似ている。
- お金のむだづかい、夜遊びは非行の芽生えです。

元気な一年生

～239人が新一年生に～



▲担任の先生やおねえさんたちの拍手で元気に教室へ向かう（東湖小にて）

「ボク一年生になったヨ」町内四小の入学式が、四月一日各校一斉に行なった。ランドセルから洋服、クツまで何もかもピカピカのスタイルで、おかあさんに付き添われて登校。神妙な表情で校門をくぐりぬけ、待ちに待った入学式に顔を見せた。

校長先生や来賓の方々から、「みんな仲良く、元気に勉強してください」ということばが

思わぬ贈りものに「本町でも車の保有台数の増加につれて、交通事故もいくらかづつでも上昇線を描いており、事故減少の歯止め対策として、フルに活用したい」と意欲的に述べている。

また、八坂神社で指導車の事故防止の安全祈願を行ない、さつそく各支部ごとに使用日程を組み、四月の旬間から会員たちは、積極的に街頭指導、交通安全

全のPRに活用している。

佐々木さんは、男鹿地区の交通安全協会の副会長を勤めているが、会社も経営しており、ブルドーザー、ダンプトラックなども毎日フル運転している。

「この車で、交通事故防止に少しでも役に立てば」と願いをこめての贈りものである。善意ありがとう。

べられたあと、担任の先生の紹介があり、引き続きおにいさんおねえさんたちの遊戯などに、目をキラキラさせながら、かわい拍手を送っていた。

また、教室に入ってから渡された真新しい教科書を手にしてきょうから一年生になったという実感がわいてきたのか、先生のお話にも元気な声を教室いっぱいにこぼさせていた。

今年度の新小学生は、天王小

善意ありがとう

農業近代化ゼミナール（青年部）では、十二月に実施したチャリティダンスパーティーでの収入の一部、一万円を「不幸な方々のために役立ててください」とくあゆみの箱々南秋支部へ送った。

百二十四、出戸小二十七、東湖小四十六、追分小四十二の合わせて二百三十九人で、昨年度より一人増となった。

天王中は、四月四日に入學式が行なわれ、百八十人が新中学生になった。

出戸新町生活学級の開講式は五月二十六日、午前十時から同分館で行ないます。

同地区の方々ぜひ参加してください。

出戸浜に波浪観測所

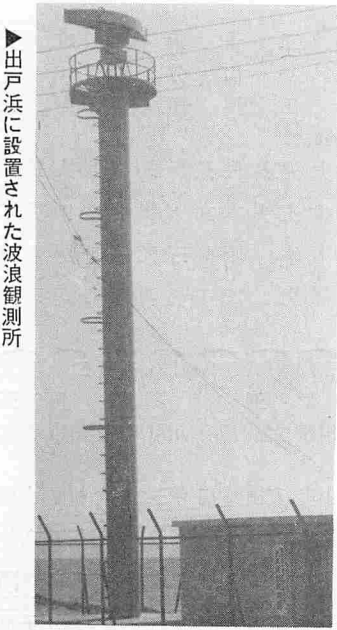
大規模の基礎データを得る

このほど、出戸浜海水浴場休憩所の南側に「波浪観測所」が設置された。

これは、秋田湾地区大規模工業開発基本調査の一環として、運輸省秋田港工事事務所で、本町の他に秋田、脇本の合わせて三カ所に設置。高さ十m七十cm直径七十一cmの塔のようなもの。

観測はすでに始まっており、今年度で二年目を迎えている。観測期間は四十六年度から四十八年度までの三年間。

秋田湾地区の波の向き、波高などをあらゆる方面から調査記録し、今後の開発にあたっての防波堤の高さ、方向、規模などを求めるための基礎データとして利用される。



▶出戸浜に設置された波浪観測所

町公民館

休館日は毎月第二月曜日です

当日は公民館の使用をご遠慮願います。

